

## 倫理委員会議事要旨

1. 日 時 平成26年10月20日(月) 15:35~15:45
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 ○自然科学系委員  
 (医 学) 井原 副院長(委員長)  
           谷本 臨床研究部長(副委員長・司会)  
           竹内 統括診療部長  
 (看護学) 時岡 看護部長  
 (薬 学) 山根 薬剤科長  
 ○人文・社会学系委員  
 (一 般) 山田 事務部長  
           山崎 企画課長  
           栗元 管理課長  
 (法 曹) 板野 委員  
 (倫 理) 本保 外部委員  
           福田 外部委員  
           ◇記録・・・ 小谷 庶務班長

4. 議事要旨 下記のとおり  
 配付資料

- ・倫理検討委員会・臨床研究等審査受付簿
- ・9月倫理委員会議事要旨
- ・研究倫理審査申請書(内容は以下のとおり。)

対番号	職 名	氏 名	研 究 課 題 名
21	看護師	木村 古都	人工呼吸器装着中のALS患者を継続して在宅介護している家族介護者の思いの経過を明らかにする
22	生理学主任	高松 泉	当院における電子カルテ導入に伴う生理検査システムについて
23	看護師長	形山 優子	重心病棟におけるノロウイルス胃腸炎のアウトブレイク後の対策
24	運動療法主任	森川 竜也	非結核性抗酸菌症のリハビリテーションにおける一考察
25	理学療法士	大石 達也	特発性間質性肺炎患者における早期介入効果—SpO <sub>2</sub> モニタリングを用いた一症例—
26	理学療法士	梶浦 尚也	肺炎予防のために排痰自己管理方法の習得が有用であった一症例
27	作業療法士	山内 康広	動作改善の必要性を感じていない慢性呼吸不全患者への呼吸リハビリテーション—個人的背景に着目し能動的姿勢がみられた1症例—
28	庶務係長	大川 鉄雄	ICカード(Felica)対応職員証の導入
29	理学療法士	前迫 克哉	ALS機能評価スケール(ALSFRS-R)を用いた筋萎縮性側索硬化症患者の理学療法の検討~カフェアシスト・歩行練習の試み~
30	専門職	山崎 理志	平成26年度診療報酬改定への当院の取組
31	神経内科医長	坂井 研一	近年の当院での筋萎縮性側索硬化症の直接死因について
32	非常勤看護師	黒岡 昌代	思春期を迎えた喘息患児への看護介入の効果

受付番号	職名	氏名	研究課題名
33	言語聴覚士	高畑 友里	緩徐なステップアップで意識変容を促し、経口摂取が可能となった筋萎縮性側索硬化症の一症例
34	臨床研究部長	谷本 安	皮膚・筋症状のない抗 PM-Scl 抗体陽性間質性肺炎の1例
35	臨床研究部長	谷本 安	成人気管支喘息に合併する鼻炎の臨床的検討ー高齢者と非高齢者との比較ー
36	診療放射線技師	唐藤 茂	PTPシート誤飲患者における放射線科検査の有用性

(内B) 委員11名が出席していますので、本委員会は成立しております。

【議事要旨の確認について】

(内B) 本日の議事要旨の確認は、本保外部委員と時岡看護部長でよろしくお願ひします。

【9月の議事要旨確認について】

(内B) なにかご指摘がありましたらお願いします。

\*\*9月の議事要旨が承認された。\*\*

【研究倫理審査の申請について】

10月の倫理審査について

<受付番号21~36番>

(内B) 事前の研究検討委員会で承認となっています。

ご覧いただいて質問等ございましたら、よろしくお願ひします。

如何でしょうか。

(外B) 受付番号28番について伺います、カードの導入は病院で始まりつつあるのか。

(内B) 中央病棟では導入しており、さらに新外来管理棟開設に向けてICカードを使用して入室をする等準備を進めています。

(外B) どのようなことができますか。

(内B) 部外者の職員専用スペースへの立入をできないようにするなどのセキュリティ強化、健康診断の受付、職員研修への参加者把握等に役立っている。いろいろな意味で業務の改善に役立っている。

(外B) 業務が簡素化されたということですか。

(内B) セキュリティ強化、各種業務効率化が図れたということが結論です。

(外B) 実際に使用している職員はいろいろな業務が楽になったのか。

(内I) 入室管理、研修参加名簿作成等簡単にできるようになった。

(内A) 当院の古い建物は入り口がたくさんあり深夜に不審者が出たりして対策に苦慮していた。今回、入室管理ができるようになったので鍵管理がきちんとできることはとてもいいことだと考えています。

(内B) ほかに何かございますでしょうか。如何でしょうか。

\*\*承認された。\*\*

(内B) 報告事項が2件ございます。

1件は、EBM推進のための大規模臨床研究として「わが国における尿酸

排泄動態に関する基準範囲の研究」ということで職員を対象とした研究で、既に中央倫理審査委員会承認を得たものなので当院での審議は必要とせず当院も研究に参加をします。

もうひとつ、国立病院機構の指定研究にも参加しており、「セーフティネット領域におけるNST/RSTの有効性の検討」ということで神経・筋疾患の患者さんにおいてチーム医療の関与によってどのように変わるか前向き観察研究をするもので、こちらも中央倫理審査委員会承認を得たもので当院での審議は必要とせず当院も参加をします。

他に何かございますでしょうか。

それでは、以上で倫理委員会を終了いたします。

その他

- ・ 次回の開催日時 → 11月17日(月)15時～(受託研究審査委員会終了後)

上記の議事要旨に相違ないこと確認する。

外部委員署名〔 本條恭子 〕

内部委員署名〔 時岡裕美子 〕